

理念

観音さまの大慈悲のみこころにそって、
思いやりの精神のもとにあたためた医療を提供します。



動脈硬化

循環器内科 小林 貴

私は、台東区一人の日本動脈硬化学会専門医として診療しております。今回は、日本動脈硬化学会からの動脈硬化性疾患予防(と診療)ガイドラインを踏まえた動脈硬化についてご説明したいと思います。

動脈硬化性疾患とは、心筋梗塞・狭心症等の冠動脈疾患を含む心疾患や脳梗塞などの脳血管障害が代表的で、これらによる死亡が日本では主要な死因のため重要視されています。動脈硬化性疾患は、生活習慣の改善や早期の治療により一定の＜予防が可能＞な疾病であるということが大事な点です。

1. 加齢は動脈硬化危険因子で＜高齢者増加の日本で動脈硬化対策が重要＞です。
2. ＜予防＞には早期から脂質異常症に加え、メタボリックシンドローム、喫煙、高血圧、慢性腎臓病(CKD)などの包括的管理が必要です。
3. ＜生活習慣の改善＞が予防の基本であり、薬物療法開始後も継続すべきです。脂質異常はそのものによる自覚症状はほとんどないことが多くまずは採血値が重要。
4. ＜LDL コレステロール(LDL-C)＞は悪玉コレステロールとも言われ、血管壁に蓄積し粥状動脈硬化を発症・進展させます。一般的には 140mg/dL 以上で異常となりますが、リスク(低・高)、二次予防で基準値が違います(7、8参照)。高リスクとは糖尿病、慢性腎臓病、末梢動脈疾患です。
5. ＜HDL コレステロール(HDL-C)＞は善玉コレステロールとも言われ、血管壁に蓄積した過剰なコレステロールを取り出すため、粥状動脈硬化を抑制する作用を持ちます。40 mg/dL 未満で異常。
6. ＜トリグリセライド(TG)＞は中性脂肪と言われ、空腹時 150mg/dL 以上で異常となる。随時(非空腹時)の新基準値ができ 175mg/dL 以上で異常となりました。
7. ＜糖尿病＞がある場合はより注意します。LDL-C の管理目標値について末梢動脈疾患、細小血管症(網膜症、腎症、神経障害)合併時、または喫煙ありの場合は 100mg/dL 未満となりました。これらを伴わない場合は今までどおり 120mg/dL 未満。
8. ＜二次予防＞とは。例えば心筋梗塞後の患者さんは二次予防です。今回冠動脈疾患に加えてアテローム血栓性脳梗塞もLDL-C の管理目標値は 100mg/dL 未満となりました。さらに、二次予防の中で「急性冠症候群」、「家族性高コレステロール血症」、「糖尿病」、「冠動脈疾患とアテローム血栓性脳梗塞の合併」の場合は LDL-C の管理目標値は 70mg/dL 未満です。
9. 新たな項目掲載では、＜生活習慣の改善に飲酒＞項目が追加となり重視されていることをひとつあげておきます。

以上のうち、4-6は日々の診療や健診でだれでも遭遇します。気になる項目がありましたら、ご自身の今後の健康生活のために内科外来を受診してみてください。

ご挨拶

事務副部長 本間 正仁

この度、本年 4 月より、事務副部長を拝命いたしました本間^{ほんま まさひと}正仁と申します。

子供の頃より、浅草寺には正月の初詣等でよく参拝しておりましたが、縁あってゆかりある浅草寺病院に着任いたしました。入職後、浅草寺の歴史に触れ、発祥が推古天皇の御世、飛鳥時代のあの大化の改新以前と伺い、驚嘆いたしました。また、折しも今年の NHK 大河ドラマ「べらぼう」の舞台がこの地域の^{はなし}噺ということで、この地域周辺に一層興味深く愛着を感じております。

さて、昨今の医療環境は高齢化社会を反映して、急性期後の回復期や在宅医療へのスムーズな移行への流れにシフトしてきております。当院も皆様に住み慣れた地域で安心して生活できますよう職員一同全力で支援してまいりますので、これまで以上に地域の皆様方のお力添えをいただき、皆様に親しまれる病院として貢献できるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



ご挨拶

医事課長 池野 久美

初めまして。この度、令和 7 年 4 月 1 日より医事課長として就任いたしました池野久美と申します。就任して 4 ヶ月まだ戸惑うこともございますが、職務を果たすことが出来るよう一生懸命努力してまいります。

当院は「観音さまの大慈悲のみこころにそって思いやりの精神のもとにあたたかい医療を提供します。」を理念に医事課もスタッフ全員で患者様をあたたかくお迎えし、安心してお帰りいただけるよう心がけております。地域とともに歩む病院として、これからも地域の皆様のお力添えをいただき、皆様に「安心して受診できる」と言っていたけよう医事課業務を丁寧に行ってまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

